

食品由来機能性成分による 生活習慣病の予防・改善に関する研究

井上 奈穂 准教授 INOUE, Nao



キーワード：食品，機能性成分，生活習慣病

専門分野：食品栄養化学

連絡先Email：naoinoue@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

研究内容

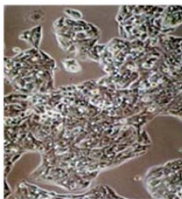
我が国ではライフスタイルの欧米化が広く浸透し、高脂肪食・高カロリー食の日常的摂取による過栄養状態、オートマチック化された日常生活や車社会による運動不足などによって肥満、脂質異常症、糖尿病、高血圧などの生活習慣病が急増している。生活習慣病はその名の示すとおり、好ましくない生活習慣によって惹起される疾病であるため、まずは生活習慣の改善によって、その予防・改善を図るべきである。

食品成分

- ・生体のエネルギー源
- ・細胞構成成分
- ・生理活性物質の前駆物質

- ・酵素活性の制御
- ・遺伝子発現の制御など

- ・栄養素の代謝
- ・細胞機能の調節 など



培養細胞による食品成分のスクリーニングおよび機能性・安全性の評価



正常モデルおよび病態モデルの実験動物（マウスやラットなど）を用いた機能性・安全性の評価

近年、生活習慣病の予防・改善に食品由来の機能性成分を活用する試みが広く行われており、当研究室では食品中の機能性成分の有効性や安全性の評価を培養細胞や実験動物を用いて行っている。